

海に関連付けて若者の流出を防ぐには

1208C班

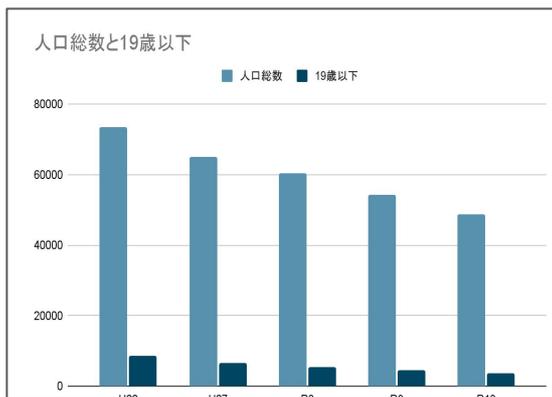
I 序論

現状: 気仙沼では年々若者が減少している

背景: 出生数の低下や水産業の衰退

仮説: 海に関するイベントや仕事を発展させれば現状を打破できるのでは

II 本論



気仙沼市では年々人口が減少傾向にあり若者の人数もそれに比例している

➡ 出生数の低下や市外へ流れてしまう事が原因

・気仙沼市の出生数
2020年: 245人
前年から-5.8%(15人の減少)
10年前に比べると-45.6%(205人の減少)
出生率では全国平均の6.80人より2.81人少ない

・人口流出
市内の高卒就職者が184人(H31)
気仙沼市では市外へ行ってしまふ人が50%

↓ この厳しい現状 どうすればいいのか…

やっぱり気仙沼の魅力といたら海だし海を上手く使い現状を打破したい!

➡ そもそも高校生は海が好きなのか?

気仙沼高校の生徒687人を対象にアンケートを実施



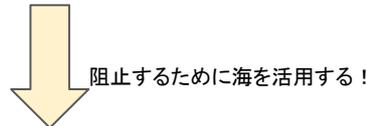
気仙沼の海自体は好きな人が多い結果に!
だが気仙沼の海でイベントを開催したり代表的な仕事である漁師に置き換えてみたらどうだろう?

III まとめ

イベントは高校生の自分たちには難しいと断念…
しかし、

漁師という仕事をPRしていけば若者流出を防げる可能性が見えた!

気仙沼では出生率の低下や市外へ流れてしまう人が多く若者が少なくなり、今後気仙沼と言う街が無くなってしまふかもしれない



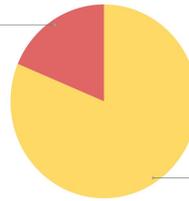
海を活用すれば流出を防げる可能性があることにより、漁師の場やそれ以外にも憩いの場があること、セレモニーが開催されるなどの魅力を若い世代にSNSなどを通じて伝えていくことが大事になる!

① イベント

イベント自体も行きたい人が多い結果に!

海のイベントに行きたいか

行きたくない
18.7%



だが…

気仙沼の海に関するイベントは少ないし知名度も低い…
これでは、若者の流出も防げず現状維持のままに
新たなイベントを作るか既存のイベントをもっと盛り上げれば…
だが高校生の自分たちで実現可能であるだろうか?

② 漁師

気仙沼高校の生徒を対象に漁師のイメージを聞くことに!

・大変そう ・忙しそう ・力仕事 ・収入が不安定
・カッコいい ・男らしい ・気仙沼に欠かせない存在

これが実際の意見…やはり漁師の印象としては-の要素もあるが
カッコいいなどの+の印象もあった!

気仙沼は漁師をすごく大切にしている街であり「鶴亀の湯」「鶴亀食堂」
など漁師が集う憩いの場も完備されていたり「出船おくり」などの
セレモニーもある!
このような情報を若い世代にPRしていけば漁師になりたいという
目的で気仙沼に残ったりほかの地域からも若者が流れてくるかも!?

IV 参考文献

- ・TRITON JOB job.fishermanjapan.com
- ・GD Freak! jp.gdfreak.com
- ・気仙沼市役所ホームページ kesenuma.miyagi.jp